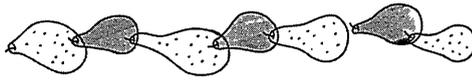


# 雪嶺集

〈宮坂静生鑑〉

尾長鳥

小林貴子



図書館に日がいっぱいや尾長来る  
ポンペイは宴の途中古酒新酒  
独逸びと句会に迎へ冬に入る  
旅終へて雨もまた良し茶の咲けり  
暮の秋五十八年後の無罪  
国見敏子さん五句  
露の朝演じ切つたる一生かな  
ワインの日さよなら国見敏子さん（十月十日）  
火の山を逝く火の人や吾亦紅  
冬麗や虚空へ失せしもの数ふ  
葬僧の帽子舟形蘭の秋